別紙1 参考様式

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
越前市	荒谷町	令和2年2月	平成27年3月

集落座談会:令和元年12月22日

1 対象地区の現状

	K-CE V-9LIV		
①地区内の耕地面積		10.7	ha
27	アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	6.6	ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計 3.2 h			ha
	i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.0	ha
	ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.7	ha
4)t	地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.0	ha
(備	考)		

2 対象地区の課題

人の問題

- 耕作者の高齢化が進んでおり、また、核家族化が進んでいることから若者が流出し後継者がいない。
- ・農業収入だけでは生活ができないという理由から、農業に魅力を感じない人が多い。 農地の問題
- ・獣害被害が多いことから、農地の維持管理が大変厳しい。。
- ・中山間地域で農地面積が狭く、形状が悪いため、受け手がいない。
- 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

現在、集落営農組織がないため、地域として資金力をつけ、中心となる人物をつくり、集落す。	営農の組織化を目指

(参考) 中心経営体

属性	農業者	現状		今後の農地の引受けの意向		備考	
	海江	(氏名・名称)	経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範 囲
法	法人A	水稲	0 ha	水稲	0 ha		
計	1 人		0 ha		0 ha		

4	3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)